

## 2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月15日

上場会社名 バルミューダ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6612 URL https://corp.balmuda.com  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺尾 玄  
 問合せ先責任者(役職名) 経理・財務部長 (氏名) 松井 卓也 (TEL) 050(3733)9206  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日～2026年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	1,775	△18.7	△267	—	△283	—	△284	—
2025年12月期第1四半期	2,184	△7.4	△280	—	△300	—	△301	—

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 △282百万円(—%) 2025年12月期第1四半期 △306百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	△33.35	—
2025年12月期第1四半期	△35.60	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	3,762	2,527	67.2
2025年12月期	4,659	2,810	60.3

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 2,527百万円 2025年12月期 2,810百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	3.8	30	—	15	—	10	—	1.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

# BALMUDA

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年12月期1Q	8,526,200株	2025年12月期	8,526,200株
2026年12月期1Q	8,579株	2025年12月期	5,579株
2026年12月期1Q	8,519,371株	2025年12月期1Q	8,463,123株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算概要情報の提供について)

当社IRサイト( <https://corp.balmuda.com/> )において、決算概要情報(四半期、通期)をエクセルファイルにて提供開始します。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(収益認識関係)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2026年1月1日～3月31日）の連結業績は、売上高が1,775百万円（対前年同期比18.7%減）、営業損失が267百万円（前年同期は280百万円の損失）、経常損失が283百万円（前年同期は300百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失が284百万円（前年同期は301百万円の損失）となり、各段階における損益が改善しました。また、第1四半期の損益としては、概ね計画通りの着地となりました。

売上高については、物価上昇による消費マインド低迷の長期化等により、国内においては前年同期の実績を下回りましたが、海外においては前年度に米国、中国、タイ等で製品ラインナップを拡大したことが奏功し前年同期の実績を上回りました。

売上総利益率については、継続的に取り組んできた新製品及び既存製品の製造コスト低減、並びに、適切な価格設定による適正利幅の確保等の施策の効果により、前年同期に対して4.4ポイント改善の35.2%となりました。

販売費及び一般管理費は、売上規模に応じた適正化を推進し前年同期比で59百万円の減少となりました。これらの取組みの結果、営業損失は前年同期比で12百万円の減少、経常損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失は前年同期比でそれぞれ17百万円の減少となりました。

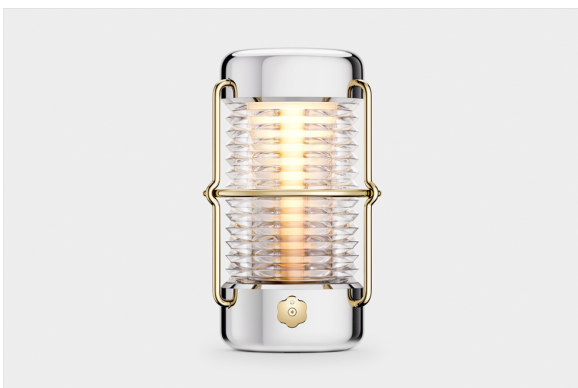
グローバルブランドへの進化：当社は、更なる成長に向けて、世界の顧客層を前提としたビジネスモデルへシフトするべく、中長期の経営戦略として「グローバルブランドへの進化」を掲げ、持続的な成長の実現に取り組んでいます。

2025年9月、当社はAppleの元CD0（最高デザイン責任者） Sir Jony Ive（サー・ジョニー・アイブ）率いるクリエイティブ・コレクティブ集団LoveFromとの共同開発によるポータブルLEDランタン「Sailing Lantern」を発表しました。Sailing Lanternは、美しさと機能性を兼ね備え、クラシックな海洋デザインに現代的な解釈を加えた特別なランタンです。米国・ヨーロッパ各国・韓国・日本の10か国以上での販売を予定しており、第2四半期となる4月から順次出荷を開始しました。

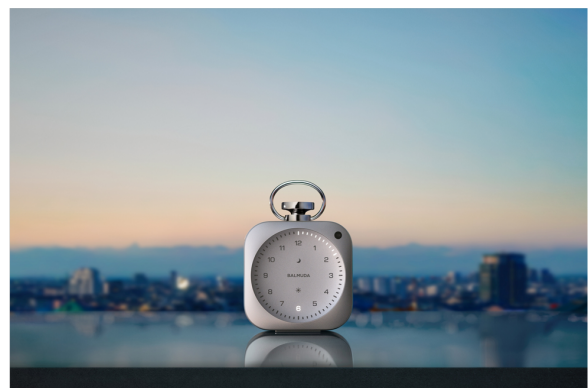
また、3月には「The Clock」の国内発売を発表しました。The Clockは、「良い時間を過ごすためのプロダクト」というコンセプトで開発した製品で、それを実現するためのさまざまな機能と特徴を備えており、75個のLEDによる独自の時刻表現「Light Hour」や、穏やかな目覚めを促すアラーム、集中を助けるホワイトノイズタイマー、雨音や暖炉音を楽しめる「Relax Time」機能など、1日を通じた時間体験を提供します。デザイン面では、伝統的な懐中時計から着想を得た造形を、アルミニウムブロックからの削り出しにより実現しています。

3月の発表後、当社オンラインストア及びブランドショップに限定して予約受付を開始したにもかかわらず、1,000台を超える予約受注を獲得し、4月より順次出荷を開始しました。今後は、国内での販売チャネルの拡大に加え、米国及び韓国での発売を予定しています。

これらの、既存の生活家電製品とは一線を画した新製品のグローバル展開を進めることで、多様な地域における事業展開を強化し、外部環境の変化に左右されにくい、柔軟かつ持続的な事業構造への転換を図ります。



Sailing Lantern



The Clock

収益構造の更なる改善：当社は、厳しい外部環境を踏まえ収益構造の改善に取り組んでいます。当第1四半期連結累計期間においては、売上規模に応じた組織・人員体制の適正化を推進し、人材費は前年同期に対して19百万円の減少となりました。また、広告宣伝費についても、米国での投入を適正化したことなどにより、前年同期に対して36百万円の減少となりました。

これらの取り組みの結果、当第1四半期連結累計期間の損益は以下の通り改善しました。

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前期差	前期比(%)
売上高	2,184	1,775	△409	△18.7
営業損失(△)	△280	△267	12	—
経常損失(△)	△300	△283	17	—
親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	△301	△284	17	—

(単位：百万円)

地域別売上高	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前期差	前期比(%)
日本	1,572	1,100	△472	△30.0
韓国	329	280	△48	△14.7
北米	116	149	33	28.4
その他	166	244	78	47.2
合計	2,184	1,775	△409	△18.7

(単位：百万円)

製品カテゴリー別売上高	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前期差	前期比(%)
空調関連	308	261	△46	△15.2
キッチン関連	1,726	1,403	△323	△18.8
その他	149	110	△38	△25.7
合計	2,184	1,775	△409	△18.7

なお、当社グループは家電事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しています。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

第1四半期連結累計期間末における資産合計は3,762百万円となり、前連結会計年度末と比べて897百万円減少しました。

流動資産は3,111百万円（前連結会計年度末比860百万円減）となり、これは主に商品及び製品が92百万円、未着品が111百万円増加した一方で、売掛金が875百万円、現金及び預金が288百万円減少したことなどによるものです。固定資産は650百万円（前連結会計年度末比36百万円減）となり、これは主に製品の金型に係る償却によるものです。

### (負債)

当第1四半期連結累計期間末における負債合計は1,234百万円となり、前連結会計年度末と比べて614百万円減少しました。

流動負債は1,115百万円（前連結会計年度末比589百万円減）となり、これは主に買掛金が97百万円増加した一方で、短期借入金400百万円、未払金が67百万円減少したことなどによるものです。固定負債は119百万円（前連結会計年度末比24百万円減）となり、これは長期借入金減少したことによるものです。

### (純資産)

当第1四半期連結累計期間末における純資産合計は2,527百万円となり、前連結会計年度末と比べて282百万円減少しました。これは主に利益剰余金が284百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の連結業績予想については、2025年12月期決算発表時に公表した内容から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	673	385
売掛金	1,791	915
商品及び製品	798	891
原材料及び貯蔵品	277	299
未着品	17	128
その他	424	510
貸倒引当金	△10	△18
流動資産合計	3,972	3,111
固定資産		
有形固定資産	511	494
無形固定資産	116	108
投資その他の資産	59	47
固定資産合計	687	650
資産合計	4,659	3,762

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	395	492
短期借入金	500	100
1年内返済予定の長期借入金	125	99
未払金	298	231
未払法人税等	1	2
賞与引当金	56	12
製品保証引当金	109	102
事業整理損失引当金	4	4
その他	214	69
流動負債合計	1,704	1,115
固定負債		
長期借入金	144	119
固定負債合計	144	119
負債合計	1,849	1,234
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	37	37
資本剰余金	2,867	2,867
利益剰余金	△120	△404
自己株式	△0	△0
株主資本合計	2,784	2,499
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	26	27
その他の包括利益累計額合計	26	27
純資産合計	2,810	2,527
負債純資産合計	4,659	3,762

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	2,184	1,775
売上原価	1,512	1,150
売上総利益	671	624
販売費及び一般管理費	952	892
営業損失(△)	△280	△267
営業外収益		
受取利息	0	0
雑収入	0	0
営業外収益合計	1	1
営業外費用		
支払利息	2	3
為替差損	14	12
雑損失	4	1
営業外費用合計	21	17
経常損失(△)	△300	△283
税金等調整前四半期純損失(△)	△300	△283
法人税、住民税及び事業税	0	0
法人税等合計	0	0
四半期純損失(△)	△301	△284
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△301	△284

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純損失(△)	△301	△284
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△4	1
その他の包括利益合計	△4	1
四半期包括利益	△306	△282
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△306	△282

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、前連結会計年度において、多額の当期純損失を計上し、当座貸越契約の財務制限条項に抵触したこと、また、マイナスの営業キャッシュ・フローを計上したことから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しています。当第1四半期連結累計期間においても、四半期純損失を計上していません。

当社グループは、当該状況を解消すべく、厳しい外部環境を踏まえ、市場動向を慎重に見極めた販売計画としたうえで、黒字転換に向け、以下の対応策を実施しています。

## ① 世界の顧客層を前提にした新製品の発売

- ・ Sailing Lantern (2026年4月から順次発売)・・・米国・ヨーロッパ各国・韓国・日本の10か国以上で販売
- ・ The Clock (2026年4月から順次発売)・・・米国・韓国・日本で展開

## ② 収益構造の改善

- ・ コスト構造の改善(原価低減、固定費圧縮)
- ・ 製品別・地域別販売戦略の最適化

## ③ 運転資金の効率的な調達

- ・ 安定的な事業運営及び上述の対応策実現のため、当座貸越枠の継続的な利用に向けた取引金融機関との協議

一方で、これらの対応策は実施途上であり、新商品の発売や収益構造の改善については、今後の事業環境の変化によっては効果を十分に得られない可能性があります。また、当座貸越枠については、継続的な利用について取引金融機関と協議を進めている段階であり、最終的な合意を得られていません。このため、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、上述のような継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映していません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

当社グループの事業セグメントは、家電事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しています。

## (キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費含む）は、以下のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	106百万円	63百万円

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社グループは、家電事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略していますが、顧客との契約から生じる収益を分解した情報は以下のとおりです。

## 1. 地域別の内訳

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
日本	1,572	1,100
韓国	329	280
北米	116	149
その他	166	244
顧客との契約から生じる収益	2,184	1,775
その他の収益	—	—
外部顧客の売上高	2,184	1,775

## 2. 製品カテゴリー別の内訳

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
空調関連	308	261
キッチン関連	1,726	1,403
その他	149	110
顧客との契約から生じる収益	2,184	1,775
その他の収益	—	—
外部顧客の売上高	2,184	1,775